

第 25 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 7 年 3 月 27 日（木）
午後 6 時から午後 7 時 30 分
会場：長野県佐久合同庁舎講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

(1) 第 24 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて

(2) 施設整備基本計画策定に向けた配置計画案について

4 その他

第 26 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】令和 7 年 5 月 1 日（木） 午後 6 時から

【会場】長野県佐久合同庁舎講堂

5 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	畠山 啓二	佐久市 副市長
2		吉岡 道明	佐久市教育委員会 教育長
3		油井 敏弘	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
4	産業界	坂川 和志	佐久商工会議所 副会頭
5		渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
6		白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
7	学識 経験者	坂江 千寿子	佐久大学 学長
8	地域	廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
9		原 啓明	佐久地域振興局 局長
10	同窓会	吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 会長
11		長田 芳子	野沢南高等学校同窓会 会長
12	PTA	片桐 美和子	野沢北高等学校PTA 会長
13		掛川 勉	野沢南高等学校PTA 会長
14		竹内 由貴	全佐久PTA連合会 会長
15	学校 関係者	小林 秀樹	佐久中学校長会 会長
16		高橋 幸彦	佐久小学校長会 会長
17	再編 対象校	永井 柊	野沢北高等学校 生徒会長
18		相澤 寛公朗	野沢北高等学校 生徒会副会長
19		岩下 ことい	野沢北高等学校 生徒会副会長
20		土屋 夢萌	野沢南高等学校 生徒会長
21		塩川 那美	野沢南高等学校 生徒会副会長
22		月岡 宏人	野沢南高等学校 生徒会副会長
23		柳沢 敬	野沢北高等学校 校長
24		山下 純一	野沢北高等学校 教諭
25		中村 信秋	野沢南高等学校 校長
26		臼田 賢治	野沢南高等学校 教諭

事務局

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
田中 聡	(教頭)・事務局長	橋爪 俊彦	(全・教頭)・副事務局長	井出 敦	主幹指導主事
山下 純一		清水 徹	(定・教頭)	土橋 邦彦	主任指導主事 (佐久新校担当)
澤田 浩文		臼田 賢治		有坂 清明	主任指導主事 (佐久新校副担当)
赤羽根 弦		林 直孝		城取 恭子	学びの改革支援課 指導主事
清水 貴弘		成田 明			
		山口 達之			

第 24 回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和 7 年 (2025 年) 1 月 10 日 (金) 18 時 00 分～19 時 00 分 オンライン
出席 (敬称略)	吉岡道明、油井敏弘、渡辺仁、白鳥敬日瑚、廣末恵子、原啓明、吉岡徹、長田芳子、片桐美和子、竹内由貴、永井柊、相沢寛公朗、岩下ことい、土屋夢萌、塩川那美、月岡宏人、柳沢敬、山下純一、中村信秋、臼田賢治 以上 20 名
傍聴者	26 名 (うちオンラインによる傍聴 15 名、事務局校での傍聴 11 名、報道なし)
事務局	野 沢 北 高 校 : 田中教頭 (事務局長)、澤田教諭、赤羽根教諭、清水教諭 野 沢 南 高 校 : 橋爪教頭 (副事務局長)、清水教頭、林教諭、成田教諭、山口教諭 県教育委員会 : 井出主幹指導主事、土橋主任指導主事、城取指導主事
当日資料	次第、第 23 回懇話会まとめ、校舎配置図、第 1 回地域ワークショップ報告書

会議事項

- (1) 第 23 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 施設配置について意見交換

主な内容(要旨)

- (1) 第 23 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

事務局から説明

質疑、意見なし。

第 23 回懇話会で実施した、両校校長による佐久新校へ繋げる探究の学びについてのプレゼンテーション及び事務局による佐久新校説明会の概要報告に対する質疑応答

質疑、意見なし。

- (2) 施設配置について意見交換

高校再編推進室から校舎配置について報告

県教育委員会は校舎配置案のうち A 案とすることを決定。 → 了承

地域のひろばの活用方法について意見交換

- ・地域のひろばを活用し、小中学生と一緒に探究の学びができると良い。新校に入学したいという動機付けになる。
- ・商店街との交流の場としての活用。
- ・医療に関する催し物の開催。

その他、施設整備や学びに対する要望

- ・地域に開かれた学校となることから、セキュリティ対策の強化が必要。
- ・余裕教室を含めた普通教室の数を確保してほしい。
- ・大職員室とは別に、職員用研究室の設置を検討してほしい。
- ・クラブ練習室 (軽音楽部等) の設置を検討してほしい。
- ・東側市道の拡張をしてほしい。
- ・国道 141 号線から駐車場へアクセスするために信号機を設置できないか。
- ・工期中の体育施設の確保及び大体育館への冷暖房の設置など大規模な改修が必要。
- ・格技室で行われている活動の保障。
- ・探究的な学びが全日制の生徒だけでなく、定時制の生徒にも深まるようにしてもらいたい。また、探究活動を全日制、定時制共に進める機会を検討してほしい。

その他

【次回】第 25 回懇話会

日程 : 令和 7 年 3 月の実施で調整中

会場 : 調整中

「信号機設置の指針」について

指針で定めていること

全てに該当しなければならない必要条件が5つ
+
どれか一つに該当しなければならない択一条件が4つ

必要条件

必要条件1

一方通行の場合を除き、赤信号で停止している自動車等の側方を自動車等が安全にすれ違うために必要な車道の幅員が確保できること。

必要条件2

歩行者が安全に横断待ちをするために必要な滞留場所を確保できること。ただし、歩行者の横断が無い場所については、この限りではない。

必要条件3

主道路の自動車等往復交通量が最大となる1時間の主道路の自動車等往復交通量が原則として300台以上であること。

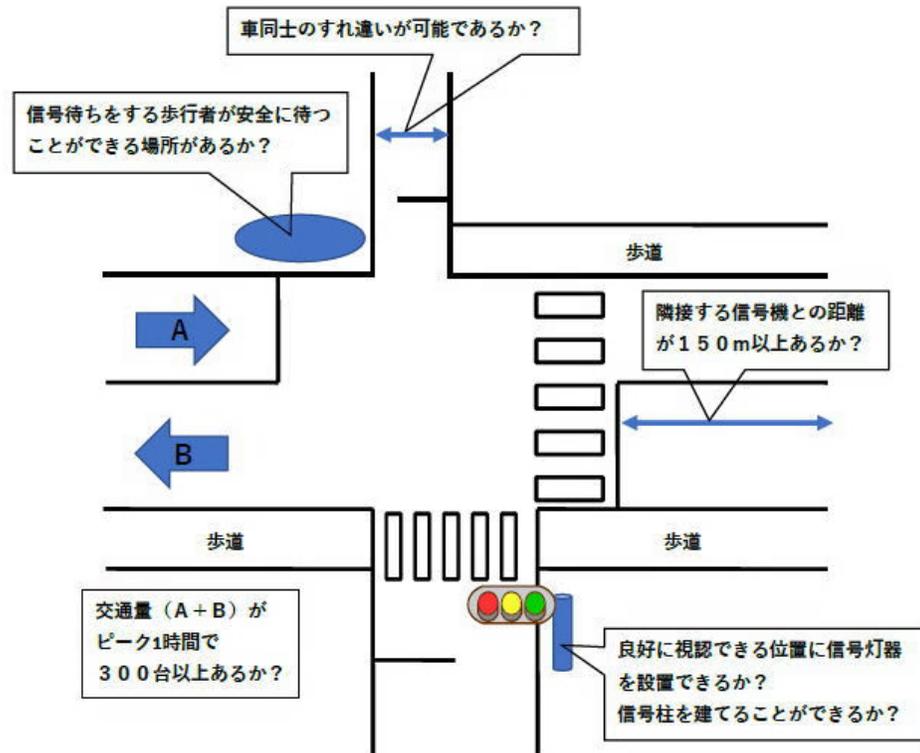
必要条件4

隣接する信号機との距離が原則として150メートル以上離れていること。ただし、信号灯器を誤認するおそれがなく、交通の円滑に支障を及ぼさないと認められる場合は、この限りではない。

必要条件5

交通の安全と円滑に支障を及ぼさず、かつ、自動車等の運転者及び歩行者が信号灯器を良好に視認できるように信号柱を設置できること。ただし、信号柱を設置せずに、自動車等の運転者及び歩行者が信号灯器を良好に視認できる場合は、この限りではない。

信号機を設置するための考え



必要条件を全て満たさないといけない

択一条件

※いずれか一つに該当しなければいけない

択一条件1

信号機を設置しようとする場合又はその付近において、信号機の設置により抑止することができたと考えられる人身事故が信号機の設置を検討する前の1年間に2件以上発生しており、かつ、交差点の形状、視認性及び車両の速度並びに当該場所における物損事故の件数等から事故発生原因を調査・分析した結果、交通の安全の確保のため、他の対策により代替ができないと認められること。

択一条件2

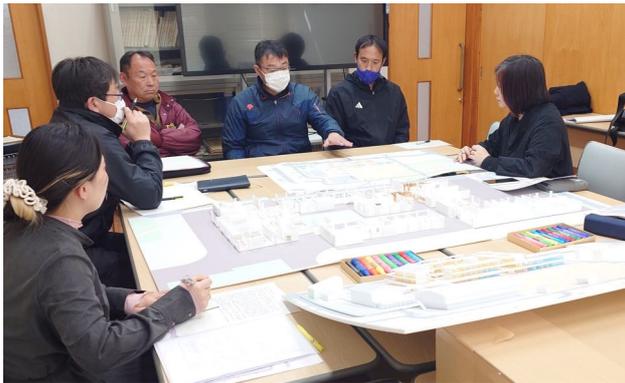
小中学校（特別支援学校の小中学部を含む。）、幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所、児童公園、病院、養護老人ホーム等の付近において、生徒、児童、幼児、身体障害者、高齢者等の交通の安全を特に確保する必要があること。

択一条件3

交差点において、ピーク1時間の主道路の自動車等往復交通量及びピーク1時間の従道路（従道路が複数ある交差点にあつては、最も自動車等流入交通量の多い従道路）の自動車等流入交通量が、図「信号機の設置及び撤去における自動車等交通量の条件」（別添1）で示す領域（1）にあること。

択一条件4

歩行者の横断の需要が多いと認められ、かつ、横断しようとする道路の自動車等往復交通量が多いため、歩行者が容易に横断することができない場合であつて、直近に立体横断施設がないこと。



両高の先生同士でも議論しながら活発な意見交換



現状の準備室の使われ方や備品を確認

- 参加者：
・野沢北高校・野沢南高校の教職員 +設計JVチーム

2025年2月20日、21日の2日間、野沢北高校岳南会館にて、佐久新校の基本計画策定に向けた教職員ヒアリングを実施しました。

野沢北高校、野沢南高校の教職員を対象に、教科・職務別に最新の配置計画、平面計画を説明し、設計意図や新校が目指す学びの方針を共有した上で、両校での現在の使い方を伺いながら、計画案に対する意見や要望、課題について議論しました。

各教科1時間という限られた時間での実施でしたが、両校ともに事前に意見をまとめていただき、参考資料をご用意いただいた先生もおられ、具体的な有意義な意見交換がなされました。模型や図面を囲んでの対話により、お互いに理解が深まりました。



家具を記入した図面を見ながら具体的な使い方を議論



大きな模型で空間のイメージを把握する

●ヒアリングで出た意見・要望（抜粋）

●科目別

○理科（北高：6名／南高：1名）

[PJC]

- ・標本や実験器具などを展示できるとよい

[ラボ]

- ・ドラフトの排気が生徒にふれないよう、直接外壁側に出ないようにしてほしい

[薬品庫]

- ・施錠と換気をしっかりできるようにしてほしい

○音楽・美術・書道・情報（北高：2名／南高：2名）

[クリエイティブスタジオ]

- ・教室を2室に分けて同時に使用する場合の防音・振動が懸念

- ・机はなるべく自由に動かせる方がよい

[デジタルスタジオ]

- ・グループワークもできるテーブルレイアウトがよい

- ・3Dプリンタ等の機器が置けるスペースがほしい

[音楽室]

- ・楽器倉庫は不要で、音楽室が広い方がよい

- ・準備室に直接入れる動線がほしい

- ・4t車を横付けして楽器を搬入したい

○家庭科（北高：1名／南高：1名）

[家庭科室]

- ・衛生上、家庭科室では靴の履き替えが必要。混雑しないようゆとりのある履き替えスペースがほしい

- ・被服の授業については講義室の方でやれるとよい

○保健体育（北高：2名／南高：1名）

[小体育館]

- ・座学の授業ができるミーティングスペースがほしい

- ・班活のひろばでは簡易スポーツができるとよい

- ・部室をやめてクラブハウスにするのもありえる

○英語・国語（北高：1名）

[普通教室]

- ・リスニングやスピーキングなど音を出す授業を工事中にできるのか気になる

[管理]

- ・教科サポートで教材研究ができるとよい

○各教科で出たご意見（一部）

●定時制

○定時制（南高：2名）

[定時制職員室]

- ・3階にも生徒を見守れるよう職員室を設けてほしい

[定時制相談室]

- ・進路相談はプライバシー確保のため、なるべく校舎の奥にあるほうがよい

[定時制普通教室]

- ・40人定員への対応をどうするか

●学習支援・生活支援・事務

○図書（北高：1名／南高：1名）

[メディアセンター]

- ・情報収集だけでなく発信の場にしたい。デジタル情報に対応し、サイネージやモニターがあるとよい

- ・市内の図書館とも連携しつつ、地域にも開放する日を設けられるとよい。

- ・展示台がほしい。生徒の作品を展示して外部に学びの成果が見えるとよい

○保健・養護教諭（北高：1名／南高：1名）

[保健室]

- ・立って見通しがきくよう、書類棚は腰高程度がよい

- ・南側に外から直接出入りできる入口を設けてほしい

○進路指導（北高：1名／南高：1名）

[進路指導室]

- ・進路情報の発信をするので、生徒の目に触れやすい位置がよい

- ・1室のなかに、執務スペース・資料閲覧スペース・相談スペースがあるとよい。

○事務（北高：2名／南高：1名）

[事務室]

- ・保管書類が多いので、集密書架が必要

- ・防犯カメラなど不審者侵入時の対策をしてほしい

○生徒指導（北高：1名）

[外構]

- ・敷地東側交差点へ自転車飛び出さないよう措置が必要

[校舎]

- ・教員の目が行き届くよう、3階にも教員スペースが必要



定時制の教員からのご意見



美術・音楽・書道・情報の教員からのご意見



図書の職員からのご意見



両校から19名の生徒が参加し、新校について意見交換



WS開始前に模型を囲んで、新校の計画を説明

○参加者：

- ・野沢北高校・野沢南高校(全日制)1,2年生のみなさん
- ・野沢南高校(定時制)3年生のみなさん
- ・長野県教育委員会
- +設計JVチーム(ファシリテーター) 合計約29名

2025年3月19日、野沢北高校岳南会館にて、佐久新校の基本計画策定に向けたワークショップが開催されました。第5回目となる今回は、野沢北高校、野沢南高校(全日制)の生徒、野沢南高校(定時制)の生徒を対象に、新校の計画概要、部室の事例紹介を行い、教室まわりや部室、メディアセンターやプロジェクトセンター(以下、PJC)についてグループディスカッションを実施しました。

現状の使い方や要望を整理しながら、よりよい新校を実現するため、盛んな議論がなされました。

●ワークショップの概要と目的

- クラスルームとロッカーラウンジの使い方：
 - ・ 単位制の授業に対応するため、教室外にロッカーラウンジを計画している。教室まわりに必要な機能、過ごし方について意見を出し合う
- 部室と班活のひろばのあり方：
 - ・ 限られた面積をどのように使うか、異なる形態の部室の案をもとに、さまざまな立場から良い点、悪い点を議論する
- メディアセンターとPJCの使い方：
 - ・ 特別教室に隣接するオープンな学習スペースや吹抜のあるメディアセンターを対象に、授業時間外の学習スペースについて意見を出し合う

●当日の流れ

1. 開催の挨拶・計画案・事例の概要説明

- ・野沢北高校柳沢校長より開催の挨拶をしたのち、設計チームより、佐久新校の最新の計画案を説明しました。加えて、最近の部室や体育施設のつくり方を紹介しました。

2. グループディスカッションの実施

2-1. ディスカッションのテーマと方法

- ・参加者を4つのグループ（全日制3班、定時制1班）に分けて実施しました。テーマ①では4つのグループ、テーマ②-1、②-2では全日制の3つのグループにて、以下のテーマについてディスカッションを行いました。

- テーマ①：「クラスルームとロッカーラウンジの使い方」
- テーマ②-1：「部室と班活のひろばの使い方」
- テーマ②-2：「メディアセンターとPJCの使い方」

- ・テーマ①では、普段の使い方をもとに、「ロッカーの大きさは十分か」「コート掛けや水回りなど、どんなものが欲しいか」など、具体的に意見を出し合いました。
- ・テーマ②-1では、A案「現在と同じ部活ごとの個別部室案」とB案「部室を共有スペースにするクラブハウス案」について、さまざまな立場から良い点、悪い点を挙げました。班活のひろばは、レイアウト例を見ながら「どのように使いたいか」について考えました。
- ・テーマ②-2では、自習と探究学習の観点から、個人やグループでの学習などシーンを想像し、議論しました。



A案：個別部室案

B案：クラブハウス案

2-2. 成果の発表・共有

- ・各グループで出された意見を取りまとめ、グループ代表者が発表し、参加者全員で意見を共有しました。
- ・個人の立場だけでなく他の人がどのように使っているか、どんな使い方をしたいか、お互いの様子を知ることによって、新たな気づきを得ることができました。



設計チームより計画案の説明



図面やパースを見ながら意見を出し合う



それぞれの意見を付箋に書き込む



「班活のひろば」のレイアウト例を用いて使い方を考える



グループの代表者が発表し、意見を共有

●グループディスカッションでの各班の意見（抜粋）

○Aグループ

【クラスルームとロッカーラウンジの使い方】

- ・教科書をしまいたいで、幅のあるロッカーがほしい
- ・お弁当を食べる前に手を洗う水回りがほしい
- ・お弁当を自分のホームルーム教室でも食べられるのか

【部室と班活のひろばの使い方】

- ・個別部室案：個人の荷物を置いたままにできるが、寒い
- ・クラブハウス案：設備が充実しそう。倉庫は部活によって使うスペースに差が出そう。シャワーの共用はしたくない
- ・班活のひろば：文化祭で大きな制作物を作るのに使える

【メディアセンターとPJCの使い方】

- ・タブレットを充電できるコンセントがほしい
- ・プロジェクターが設置されていると便利

○各グループの成果品（一部）：



クラスルームとロッカーラウンジの使い方（Aグループ）

○Bグループ

【クラスルームとロッカーラウンジの使い方】

- ・単位制になったら、カバンは持ち歩くことになるのでは
- ・ロッカーの鍵はかけたい人もいるので、ダイヤル式が良い
- ・学級共用のロッカーは私物化する人が出てきそう

【部室と班活のひろばの使い方】

- ・個別部室案：散らかしていても他の部活に迷惑をかけない。
- ・現状、人数の多い部活は部室を2室使っている。
- ・単位制になるからこそ、居場所としての個室が必要だと思う
- ・クラブハウス案：他の部と交流できるのはよい
- ・班活のひろば：部活でも使えるスペースにしたい。文化祭の青空ステージにしたい

【メディアセンターとPJCの使い方】

- ・探究学習の成果を展示したい



部室と班活のひろばの使い方（Bグループ）



メディアセンターとPJCの使い方（Bグループ）

○Cグループ

【クラスルームとロッカーラウンジの使い方】

- ・ロッカーにリュックやカバンを入れたい
- ・傘やカッパは外に置き、校舎内を濡らさないようにしたい
- ・全員分のヘルメット、カッパを置く場所はないかも

【部室と班活のひろばの使い方】

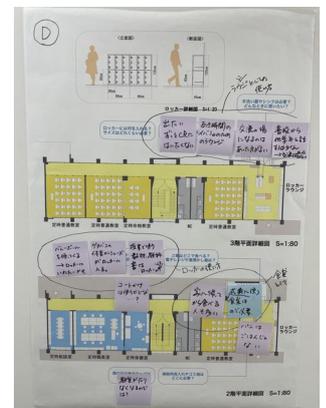
- ・個別部室案：ご飯を食べながらミーティングができる
- ・文化部は倉庫があれば、部室が不要な部もある
- ・クラブハウス案：着替えは更衣室でよいが、個人の部活道具や部所有の備品の管理が心配
- ・班活のひろば：スポーツやイベントなど多用途に使いたい

【メディアセンターとPJCの使い方】

- ・放課後、グループワークに使えるとよい
- ・個別に学習ができるよう机にパーティションがほしい



部室と班活のひろばの使い方（Cグループ）



クラスルームとロッカーラウンジの使い方（Dグループ）

○Dグループ（定時制）

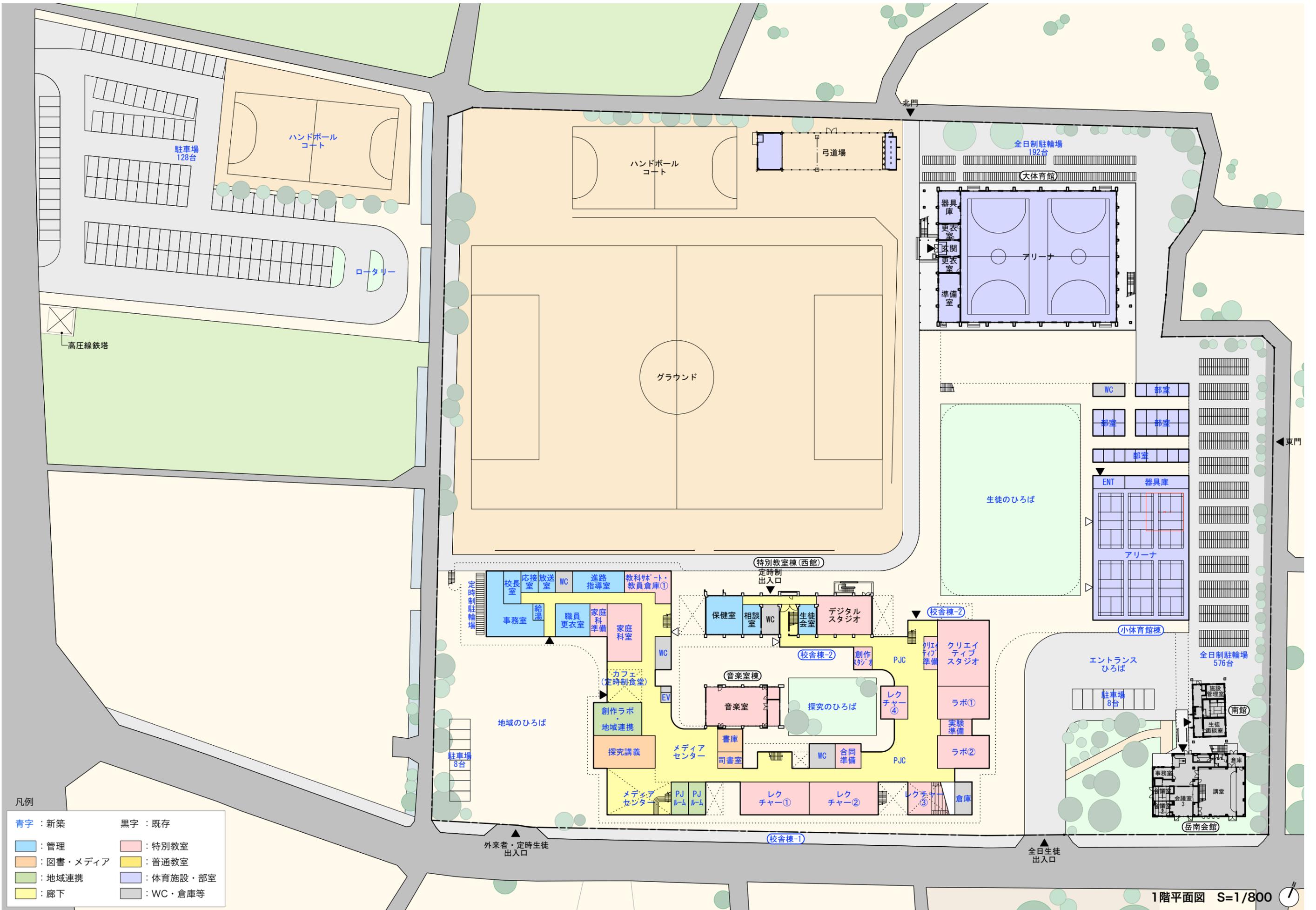
【クラスルームとロッカーラウンジの使い方】

- ・ロッカーには教科書以外に、体育館シューズや休み時間に使うバレーボールをしまいたい
- ・他の学年との交流の場にもなるのでラウンジはほしい
- ・教室以外にも居場所がほしい

●総評・まとめ

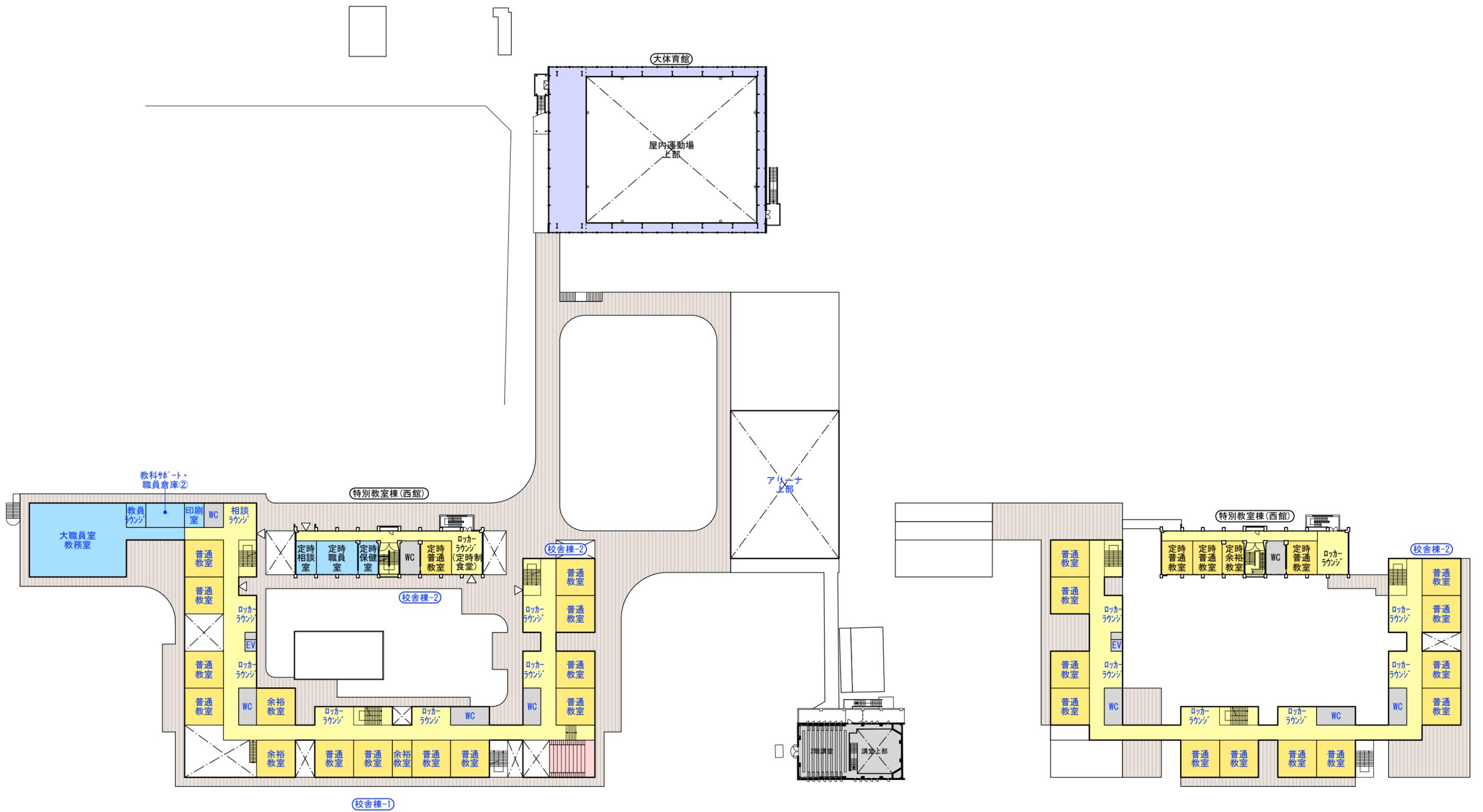
（ファシリテーター：SALHAUS 前田沙希より）

新校では、これまでの学校にはない空間や授業が展開されます。図面や模型、パースでイメージを膨らませ、具体的な意見やアイデアが多く挙げられました。模型を見ながら熱心に質問したり、写真を撮る姿も印象的でした。学校生活を共に過ごしているみなさん同士でもお互いに知らない側面があり、気づきの多い時間になったと思います。ワークショップ通じて新校を考えるきっかけとなれば嬉しいです。



凡例

青字	: 新築	黒字	: 既存
■ (Blue)	: 管理	■ (Pink)	: 特別教室
■ (Orange)	: 図書・メディア	■ (Yellow)	: 普通教室
■ (Green)	: 地域連携	■ (Purple)	: 体育施設・部室
■ (Light Yellow)	: 廊下	■ (Grey)	: WC・倉庫等



凡例

青字	: 新築	黒字	: 既存
■	: 管理	■	: 特別教室
■	: 図書・メディア	■	: 普通教室
■	: 地域連携	■	: 体育施設・部室
■	: 廊下	■	: WC・倉庫等

2階平面図 S=1/800

3階平面図 S=1/800